

文化屋楽器店企画制作部
〒416-0914 静岡県富士市本町7-1 9
TEL&FAX 0545-64-3968

ミュージックジャパン

Music Japan

橋本祐輔

イベント・パーティなら何でもおまかせ。会場に合わせて音響システムや照明を導入できるのも、母体が音響やPAなどで年間実績が三百を超える楽器店であるため。音楽ファンへの徹底した安売りサービスは定評があり、また、文中で紹介した、寺内タケシ氏のシグネチャーの独占販売を行っている、知る人ぞ知る名店でもある。



新年会、花見、結婚式、納涼祭、クリスマス、忘年会まで、一年中のあらゆるパーティ・イベントを成功に導くバンド。それが「テリーズ」だ!

魅せるエシキナイト!

テリーズ



誰ともなく、いつしか「イベント必勝請負人」、「最後の昭和のプロバンド」などと呼ばれるようになったテリーズ。結成三十年を過ぎてなお、リーダー五十榎(いそずみ)のギターテクニクは冴えわたっている。寺内タケシ&ブルージーンズ、ベンチャーズ、スタンダード、ポップスや懐かしくも色褪せることのない昭和歌謡曲など...。今回は、「美しいメロディは美しく、古い新しいは関係無い」と、とてもコミカルなトークで観客を沸かせながらも、メロウでノスタルジックなサウンドを常に発信し続けるテリーズにスポットを当てて見た。

結成以来、年間百五十回以上を誇るステージを全国展開しているテリーズ。

リーダー、五十榎淑朗(いそずみよしろう)氏は、静岡県富士市で楽器店を経営しながら、プロとしてのステージ活動を三十年続けてきた。

しかも、音楽に親しむ方なら誰でもご存知、あのギターの様、寺内タケシ氏より日本でただ一人「師範代」という公式の称号を贈られた本物中の本物のギタリストだ。

実は、ケガをした寺内氏の代わりに同じステージ上でコンサートを通じてギターソロを弾き続けたという逸話もあるほどだ。

その五十榎の卓越したギターテクニクと、高座の嘶家も舌を巻き、その話術とネタを盗んだというコミカルで楽しいトークで、最近は少なくなってしまう、お客様を楽しませるための本物のプロフェッショナルなステージは展開された。

二千曲を超えるレパートリー、生バンドによる歌謡曲カラオケ、イントロ当てクイズ、ダンスのバック演奏等...

テリーズの演奏に酔い、五十榎の絶妙なトークに観客は腹を抱えて笑い、美味しい料理に舌鼓を打つ。久々に最高に楽しめるパーティに参加した、という感想を持った。

ステージに上がり、歌い終えたある壮年男性の嬉しそうな笑顔が私には忘れられない。観客とステージが一体となった、一方通行でないステージがそこにあった。

これこそ心に残るショーといえるのではないだろうか。

伊藤(記)

テリーズ プロフィール

一九七二 五十榎淑朗、十六歳の時にバンドの前身となるBLUE "MAN" を結成。高校生であるにも関わらず、パパやコンサートホール等で演奏活動を行っていた。

一九七四 寺内タケシ氏に弟子入りを直訴し、あえなく断られる。その後、自らが率いるバンドで音楽事務所に入り、演歌歌手、タレント等のバック演奏をつとめるプロ活動に入る。

一九七八 大学卒業後、両親との「正業に就く」という約束を守り、某自動車関連の上場企業に就職するも、直ちに現バンドの骨格となるテリーズを結成。

一九八三 楽器を安く買いたいという単純明快な理由をもってして、六月四日、文化屋楽器店を開店。常にライブ活動に従事したいという理由よりメンバーを社員に。以後、楽器店経営の傍ら、テレビやラジオ等の媒体への露出と本格的なステージ演奏活動に。またイベント開催や芸能人コンサート等の招致を行い、知る人ぞ知る「五十榎の看板」を大きく展開。

一九九四 長年師と仰いできた寺内タケシ氏より、一九九九年一月、ホテルザヨコハマにて、日本でただ一人の「寺内流師範代」を公式に任命される。

現在 年間二百を超えるステージ演奏活動を展開。村おこしコンサート、各市町村のお祭り、中等高等学校の芸術鑑賞ゲスト出演、敬老会、刑務所への慰問、各種企業パーティへのゲスト出演、歌手・ものまねタレントのバック演奏、生保パーティ・イベント協力、各種式典のバックアップ等の活動を精力的に行っている。

【TV出演】

- 情報交差点DO (イソさんのきままな食べ歩き)
- イカんともしがたいBAND 天国
- BAND DE ENDO
- バリバリG7

【ラジオ出演】

- バンドラの筐
- ヤオハンこぎけん倶楽部
- ワクワクサンデーキャラバン